


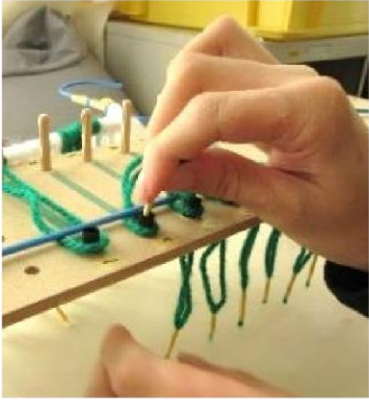



教材教具説明シート

名称	毛糸と針金ハンガーのモップ作りのための補助具		
関係する教科等	作業学習	区分・ 項目	
使用対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンガーに直接、毛糸を巻き付けることが難しい生徒。 ・5、10などの数の学習を行っている実態の生徒。 		
使用目的	<ul style="list-style-type: none"> ・目と手の協応性、手指の巧緻性の向上。 		
活用時の様子	<p style="text-align: center;">＜作業作品完成品＞</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: left;"> <p>①ストローとダボに毛糸の輪を掛けます。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: small;">ダボ ストロー</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="margin-top: 10px;">②パンチングボードの上にハンガーを置きます。輪のダボに掛かっている方の先っぽを、ハンガーの上からストローに通すことで、ハンガーに毛糸を結び付けることができます。最後にハンガーの形を整えてモップにします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="font-size: 2em; color: yellow; margin: 0 10px;">➔</div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
効果・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じて毛糸の本数を工夫することができるので、作業量が分かりやすく、集中して取り組むことができた。 ・ハンガーを机に平置きしたままであると、不器用な生徒には難度が高いが、この補助具を使うと毛糸の輪に毛糸を通すことが容易になり、ほとんどの生徒が取り組むことができた。 ・5、10、15など、毛糸の本数を調節できるので、視覚的に作業量が理解しやすい。 		

